

令和3年度（令和2年度実施事務事業）
三浦市教育委員会所管事務事業
点検・評価報告書



令和3年8月

三浦市教育委員会

人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら

目 次

はじめに	- 1 -
I 点検・評価の概要.....	- 2 -
1 趣旨.....	- 2 -
2 対象事務事業.....	- 3 -
(1) 教育委員会所管事務.....	- 3 -
(2) 点検・評価の対象とする事務事業.....	- 4 -
3 点検・評価の手法.....	- 7 -
(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表.....	- 7 -
(2) 点検・評価の手順.....	- 7 -
(3) 有識者会議.....	- 9 -
4 総合所見.....	- 9 -
II 点検・評価結果	- 10 -
1 教育総務課所管事業.....	- 11 -
2 学校教育課所管事業.....	- 15 -
3 学校給食課所管事業.....	- 21 -
4 文化スポーツ課所管事業.....	- 22 -
5 青少年教育課所管事業.....	- 24 -
6 総括表.....	- 26 -
III 教育委員会活動状況報告.....	- 27 -
1 教育委員会教育長・委員名簿.....	- 27 -
2 教育委員会会議.....	- 27 -
(1) 開催状況.....	- 27 -
(2) 審議等の状況.....	- 28 -
3 教育委員会会議以外の活動状況.....	- 33 -
IV 教育委員会総合所見.....	- 34 -

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられており、点検・評価を行うにあたっては、透明性、客観性を確保するという観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

三浦市では、平成 27 年 4 月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正施行に伴い、平成 27 年 10 月より新たな教育委員会制度の下に事務事業の執行にあたっておりますが、本年度の点検・評価についても、有識者会議の委員各位のご見識とご尽力により貴重なご意見を頂戴いたしました。委員各位には、あらためて厚く御礼申し上げます。

点検・評価は、教育委員会が自己評価をするものでありますが、教育委員会の責任体制の明確化を図り、結果を公表することで、市民のみなさまへの説明責任を果たし、教育委員会事務事業の課題を明確にすることの意味は大きいものであると認識しています。

また、点検・評価というツールを教育委員会の組織、体制の改善や事務事業の見直しに使うて参りたいと思います。点検・評価をすることが目的ではなく、それを活用することが点検・評価の目的であると認識し、教育委員会組織の充実を図り、質の高いサービスを提供することにつなげて参りたいと考えておりますので、市民のみなさまにおかれましても、この報告書をご高覧賜り、三浦らしい教育の実現に向け、三浦市教育委員会に対し叱咤激励を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和 3 年 8 月

三浦市教育委員会

I 点検・評価の概要

1 趣旨

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地
教行法」という。）の一部が改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、全国すべ
ての教育委員会において、毎年、教育委員会所管事務の管理及び執行状況に
ついて点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関す
る報告書を議会に提出し、公表することとされました。

三浦市教育委員会においても、所管事務の管理及び執行状況について毎年、
点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会（三浦市議会
第 3 回定例会）に提出するとともに、市民に公表いたします。

このことにより、教育委員会の責任体制の明確化を図り、点検・評価結果
を公表することで市民のみなさまへの説明責任を果たし、課題を明確にする
ことで次の事務執行の改善等を進めます。これは、教育委員会自らが、その
所管する事務事業の P D C A サイクル^{※1}を確立しようとするもので、P D C
A サイクルの確立により、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを
趣旨としています。

【参考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長
に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員
等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を
行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなけれ
ばならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者
の知見の活用を図るものとする。

※1:「P D C A サイクル」

典型的なマネジメントサイクルの 1 つで、計画 (plan)、実行 (do)、評価 (check)、改善 (act)
のプロセスを順に実施する。最後の act では check の結果から、最初の plan の内容を継続 (定着)・
修正・破棄のいずれかにして、次回の plan に結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すこと
によって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

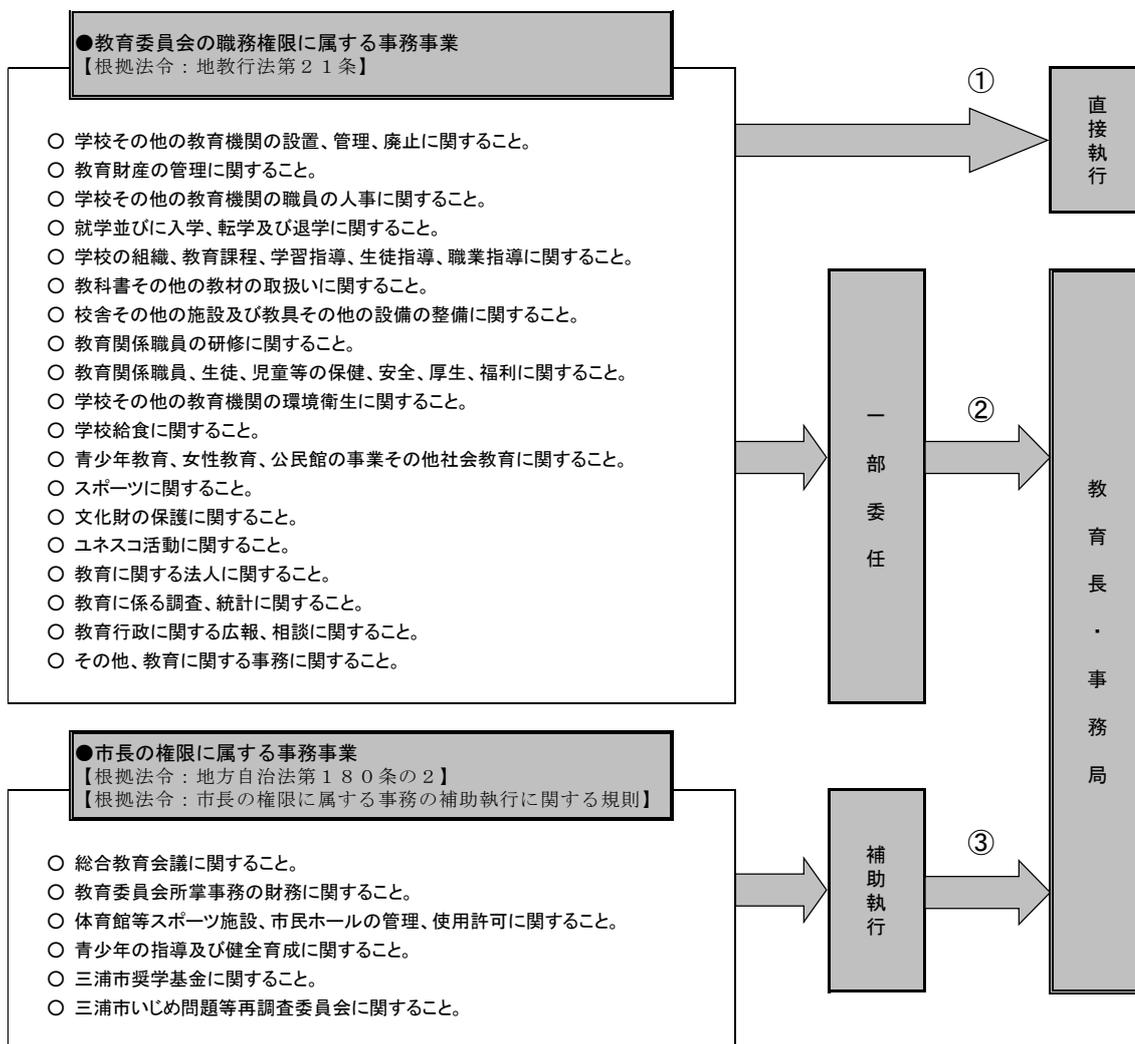
2 対象事務事業

(1) 教育委員会所管事務

三浦市教育委員会は、教育長、4人の教育委員及び教育委員会事務局で組織されています。

ここで所管する事務事業は、下記の図1のとおりに分類されます。

【図1：教育委員会所管事務体系】



すなわち、

- ① 地教行法第21条に基づき、教育委員会が直接執行する事務
- ② 地教行法第21条に基づき、教育委員会が教育長・事務局に委任して執行する事務

③ 地方自治法及び規則に基づき、市長の権限に属する事務を教育長・事務局が補助執行^{※2}する事務

の3つです。

点検・評価の対象は、前述の地教行法第26条のとおり「教育委員会の権限に属する事務」とされていますので、上記の①と②の一部を対象とすることとします。

(2) 点検・評価の対象とする事務事業

三浦市では、すべての経費を、人件費、生活保護費などの扶助費、公債費(利息を含めた借金の返済金)などに充てる義務的経費、施設の維持管理費などのその他経費(経常的)、それ以外の経費で、総合計画に沿ったまちづくりの計画の具現化を進める事業に充てる実施計画事業費やその他経費(臨時的)の区分にしています。

前二者は事業選択や予算規模に関する自由裁量が少なく、実施計画事業費に関しては、事業選択や予算規模に関して比較的自由的な裁量が可能な経費です。

そのことから、点検・評価の対象事務事業は、年度内に教育部が達成目標を設定した事務事業のうち、「市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則」により教育委員会の教育長及び事務局職員並びに教育機関の職員が補助執行するものを除くものを基本とします。

(1)の①及び②のうち、達成目標を設定した事務事業から選択した事業に、経常的経費を充当するもののうち、政策的に重要な意味を持つ事業を加え、点検・評価の対象事業とします。

具体的には次の表1に示す教育委員会所管の事業のうち、「点検・評価対象」に“○”を付した事業を対象とします。

※2: 「補助執行」

ある行政機関の事務を他の行政機関に所属する職員が補助して執行することをいう。市長の権限に属する事務は本来、市長の副市長以下の補助執行機関が行うが、教育行政については、規則により教育委員会が補助執行している。

【表1：教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業】

No.	事業名	決算見込額(円)	主管			充当経費	権限区分		点検評価対象	事業区分	
			部門	部	課		委員会	市長		実施	その他
1	小学校特別支援学級充実事業	312,594	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
2	中学校特別支援学級充実事業	100,695	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
3	教育委員会運営事業	4,134,800	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
4	教育委員会事務局一般管理事業	442,473	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
5	教育振興小学校管理運営事業	30,466,949	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
6	小学校義務教育施設維持管理事業	50,129,636	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
7	小学校施設整備事業	9,941,360	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○	○		○
8	教育振興中学校管理運営事業	20,178,679	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
9	中学校義務教育施設維持管理事業	30,115,261	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
10	中学校施設整備事業	6,518,160	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○	○		○
11	小学校教育環境適正化事業	445,000	一体感	教育部	1	教育総務課	実計	○	○	○	
12	奨学事業	10,025,513	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○	○		○
13	公立学校施設災害復旧事業	0	一体感	教育部	1	教育総務課	その他	○			
14	就学時健康診断事業	369,301	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
15	小学校疾病予防検査事業	13,388,483	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	○			
16	中学校疾病予防検査事業	6,100,990	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	○			
17	グローバル教育推進事業	6,404,500	一体感	教育部	2	学校教育課	実計	○	○	○	
18	相談指導教室事業	1,947,837	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
19	小学校教材教具整備事業	127,059,111	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
20	中学校教材教具整備事業	76,726,057	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	○			
21	障害児教育事業	18,215,954	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
22	小学校心身障害児教育充実事業	1,888,554	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	○			
23	中学校心身障害児教育充実事業	1,020,615	一体感	教育部	2	学校教育課	義務	○			
24	教育研究所事業	1,503,779	一体感	教育部	2	学校教育課	実計	○	○	○	
25	教育指導事業	1,156,860	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
26	教職員福利厚生事業	217,000	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
27	教育指導一般管理事業	102,905	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
28	地域教育力活用事業	45,000	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
29	海洋教育推進等地域連携事業	2,448,567	一体感	教育部	2	学校教育課	実計	○	○	○	
30	小学校学校災害傷害保険事業	1,600,718	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
31	中学校学校災害傷害保険事業	961,622	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業		一体感	教育部	2	学校教育課		○	○		○
33	海難交通遭見就学奨励事業	0	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○			
34	小学校就学援助事業	11,974,511	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○	○		○
35	中学校就学援助事業	7,602,938	一体感	教育部	2	学校教育課	その他	○	○		○
36	学校給食事業	160,443,679	一体感	教育部	3	学校給食課	義務	○	○		○
37	学校体育施設開放事業	114,158	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
38	スポーツ施設運営管理事業(体育施設)	63,627,461	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他		○		
39	かながわ駅伝競走大会選手派遣事業	0	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
40	スポーツ推進審議会事業	1,005,728	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			

No.	事業名	決算 見込額 (円)	主管			充 当 経 費	権限区分		点 検 評 価 対 象	事業区分	
			部門	部	課		委 員 会	市 長		実 施 計 画	そ の 他 課 題
41	わんぱく相撲大会事業	0	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
42	スポーツ推進委員事業	1,005,728	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	義務	○			
43	地域スポーツ振興事業	1,620,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○	○		○
44	保健体育総務一般管理事業	1,815,146	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
45	文化財保護委員会事業	36,203	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
46	赤坂遺跡等埋蔵文化財緊急発掘調査事業	2,000,991	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
47	文化財施設維持管理事業	304,621	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
48	文化財保護一般管理事業	237,120	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
49	指定文化財保存管理助成事業	435,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
50	三浦市伝統芸能等伝承振興事業	1,000,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
51	三浦市文化祭事業	0	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
52	白秋記念館管理運営事業	1,581,963	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
53	三浦市民ホール事業	24,724,915	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他		○		
54	社会教育団体助成事業(PTA)	58,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
55	社会教育総務一般管理事業	7,360	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
56	社会教育委員事業	11,575	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
57	社会教育講座事業	69,000	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○	○		○
58	人権教育推進事業	100,982	一体感	教育部	4	文化スポーツ課	その他	○			
59	姉妹都市交流事業	0	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
60	青少年姉妹都市国際交流事業		一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○	○		○
61	子ども会活動促進事業	95,550	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
62	子どもの船事業	0	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
63	青少年教育一般管理事業	0	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
64	成人の日のつどい事業	40,332	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他	○			
65	青少年問題協議会事業	0	一体感	教育部	5	青少年教育課	その他		○		
66	青少年指導員活動事業	1,060,807	一体感	教育部	5	青少年教育課	義務	○	○		○
67	図書収集整理閲覧事業	5,800,104	一体感	教育部	6	図書館	その他	○			
68	図書館運営管理事業	3,164,722	一体感	教育部	6	図書館	義務	○			
69	公民館フェスティバル事業	0	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	その他	○			
70	南下浦市民センター維持管理事業	4,153,186	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	その他	○			
71	南下浦市民センター社会教育指導員事業	1,123,835	一体感	教育部	7	南下浦市民センター	義務	○			
72	初声市民センターまつり事業	0	一体感	教育部	8	初声市民センター	その他	○			
73	初声市民センター維持管理事業	6,436,802	一体感	教育部	8	初声市民センター	その他	○			
74	初声市民センター社会教育指導員事業	1,154,982	一体感	教育部	8	初声市民センター	義務	○			

点検・評価対象事業数 15

3 点検・評価の手法

(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表

三浦市議会では、毎年第3回定例会（通常9月開催の定例会）において一般会計決算の認定議案が審議されることとなっています。教育委員会所管事務事業の決算に係る審議も例外ではなく、その審議に合わせ、教育委員会所管事務事業の点検・評価を議会に提出し、公表すべきであると考えられます。

このことから、点検・評価は、毎年、三浦市議会第3回定例会前に行い、同議会において報告後、すみやかに三浦市のホームページにおいて公表し、南下浦、初声の両市民センター及び教育委員会教育総務課に閲覧用の報告書を備え、市民のみなさまに供することとします。

(2) 点検・評価の手順

ア 点検・評価の手順と内容

点検・評価は、次の手順及び内容で行います。

(ア) 達成目標と実績の検証

事業ごとに定めた達成目標の確認及び実績を明示します。

(イ) 事務局自己評価

(ア) 及びその他の情報に基づき、事務局として、事務事業の成果及び課題と課題に対する対処方針を明示します。

(ウ) 有識者意見調整

(ア)、(イ) 及びその他の情報に基づき、有識者の意見を調整します。

(エ) 教育委員会総合評価

(ア) ～ (ウ) 及びその他の情報に基づき、事業手法、目標と実績及び事業効果の3点について、次の表2～表4の区分により、評価します。

その際、ランクを5点から1点と点数化し、教育委員がそれぞれ評価したランクの件数に乗じて求めた合計点から加重平均を求め、4.5以上を5評価、3.5以上4.5未満を4評価、2.5以上3.5未満を3評価、1.5以上2.5未満を2評価、1.5未満を1評価とするものとします。

なお、評価に当たっては、必要に応じて各教育委員の意見を取りまとめた付帯意見を付すものとします。

【表 2：事業手法に関する評価区分】

ランク	評 価
5	事業手法が適切で、改善の余地がない。
4	事業手法は適切であった。
3	事業手法はおおむね適切であった。
2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。
1	事業手法の見直しが必要である。

【表 3：目標と実績に関する評価区分】

ランク	評 価
5	目標が適切で、十分な実績をあげた。
4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。
3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。
2	目標設定に課題はあり、予定の実績を得られなかった。
1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。

【表 4：事業効果に関する評価区分】

ランク	評 価
5	具体的効果が十分に得られている。
4	具体的効果が得られている。
3	一定の効果は得られている。
2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。
1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。

(3) 有識者会議

地教行法第 26 条第 2 項の規定により、点検・評価をするに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価に関する有識者会議」（以下「有識者会議」という。）を組織します。

有識者会議は、達成目標と実績の検証、事務局自己評価及びその他の情報に基づき、教育委員会所管事務事業の決算の状況に関する意見を交換し、調整し、教育委員会の総合評価に資することを目的とします。

【表 5：有識者会議委員名簿】

(50音順：敬称略)

氏 名	役職等
玉 井 恵 理 (たまい えり)	元三浦市教育委員
村 山 智 洋 (むらやま ともひろ)	三浦市 P T A 連絡協議会会長

4 総合所見

点検・評価報告書には、前 2 項に掲げる点検・評価のほか、教育委員会活動状況報告を掲載するとともに、効率的かつ効果的な教育行政の推進に資することを目的として、教育委員会の事務全般に対する教育委員会の総合所見を掲載します。

II 点検・評価結果

点検・評価の結果について、対象事業を所管する課ごとに並べ、掲載します。
対象事業の一覧と掲載ページは、次の表6のとおりです。

【表6：対象事業一覧・掲載ページ索引】

No.	事業名	決算 見込額 (円)	所管課		充 当 経 費	権限区分		掲 載 ペ ー ジ
						委 員 会	市 長	
7	小学校施設整備事業	9,941,360	1	教育総務課	その他	○		11
10	中学校施設整備事業	6,518,160	1	教育総務課	その他	○		12
11	小学校教育環境適正化事業	445,000	1	教育総務課	実計	○		13
12	奨学事業	10,025,513	1	教育総務課	その他	○		14
17	グローバル教育推進事業	6,404,500	2	学校教育課	実計	○		15
24	教育研究所事業	1,503,779	2	学校教育課	実計	○		16
29	海洋教育推進等地域連携事業	2,448,567	2	学校教育課	実計	○		17
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業		2	学校教育課		○		18
34	小学校就学援助事業	11,974,511	2	学校教育課	その他	○		19
35	中学校就学援助事業	7,602,938	2	学校教育課	その他	○		20
36	学校給食事業	160,443,679	3	学校給食課	義務	○		21
43	地域スポーツ振興事業	1,620,000	4	文化スポーツ課	その他	○		22
57	社会教育講座事業	69,000	4	文化スポーツ課	その他	○		23
60	青少年姉妹都市国際交流事業	0	5	青少年教育課	その他	○		24
66	青少年指導員活動事業	1,060,807	5	青少年教育課	義務	○		25
点検・評価対象事業数 15								

※No.については、P5～P6の教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業のNo.と一致しています。

1 教育総務課所管事業

No.	事業名				部門	一体感	
7	小学校施設整備事業				部	教育部	
					課	教育総務課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	02 小学校費
	施策	義務教育環境の充実				目	01 学校管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		0	0	0	0	0	0
決算(見込)		9,941,360	9,941,015	0	0	0	345
執行率		-	-	-	-	-	-
予算執行率100%超又は執行なしの理由		国の交付金を活用し、感染症対策として体育館に送風機等を設置することとしたため。					
令和 2 年度 事業内容							
国の交付金を活用し、全ての小学校の体育館に送風機等を配置します。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績		達成状況		
	全ての小学校の体育館に送風機等を配置		全ての小学校の体育館に送風機等を配置		100%以上～125%未満		
					達成状況100%未満の理由		
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	<p>【成果】国の交付金を活用し、感染症対策として体育館に送風機等を設置した。</p> <p>【課題】学校施設の経年劣化による修繕及び老朽化対策を検討する。</p>			<p>学校長等からの要望について優先順位をつけて国、県の補助金を活用して実施する。</p>			
有識者見	<p>学校の施設の安全は児童の生命や健康に直結する。また、自然災害が起こった場合、学校施設は地域住民にとって避難場所となる重要な場所である。</p> <p>施設整備については、危険箇所を優先的に整備しなければならないが、学校、児童、家庭すべてに危険箇所の情報共有が出来ると良いと思う。</p>						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	財源的な限りはあるが、子ども達の安全を考え危険箇所を把握し、危険の及ぶ可能性の高いものの改修着手に努めて欲しい。					

No.	事業名				部門	一体感	
10	中学校施設整備事業				部	教育部	
					課	教育総務課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	03 中学校費
	施策	義務教育環境の充実				目	01 学校管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		2,936,000	0	0	0	0	2,936,000
決算(見込)		6,518,160	3,932,375	0	0	0	2,585,785
執行率		222.01%	-	-	-	-	88.07%
予算執行率100%超又は執行なしの理由		国の交付金を活用し、感染症対策として体育館に送風機等を設置することとしたため。					
令和 2 年度 事業内容							
三崎中学校技術棟非常階段等修繕工事を実施し安全な教育環境の維持に努めます。 また、国の交付金を活用し、全ての中学校の体育館に送風機等を配置します							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	三崎中学校技術棟非常階段等修繕工事：1件 全ての中学校の体育館に送風機等を配置		三崎中学校技術棟非常階段等修繕工事：1件 全ての中学校の体育館に送風機等を配置			100%以上～125%未満 達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題				課題に対する対処方針		
	【成果】三崎中学校技術棟非常階段等修繕工事を実施し安全な教育環境の維持に努めた。 また、国の交付金を活用し、感染症対策として体育館に送風機等を設置した。 【課題】学校施設の経年劣化による修繕及び老朽化対策を検討する。				学校長等からの要望について優先順位をつけて国、県の補助金を活用して実施する。		
有識者見	学校の施設の安全は生徒の生命や健康に直結する。また、自然災害が起こった場合、学校施設は地域住民にとって避難場所となる重要な場所である。 施設整備については、危険箇所を優先的に整備しなければならないが、学校、生徒、家庭すべてに危険箇所の情報共有が出来ると良いと思う。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
付帯意見	送風機の設置は運動時の子ども達に大変成果が見られている。 経年劣化による老朽化は今後も続くものであるので安心安全な学校環境を守り続けて欲しい。						

No.	事業名				部門	一体感	
11	小学校教育環境適正化事業				部	教育部	
					課	教育総務課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	義務教育環境の充実				目	02 事務局費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		690,000	0	0	0	0	690,000
決算(見込)		445,000	0	0	0	0	445,000
執行率		64.49%	-	-	-	-	64.49%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
令和元年度に策定した三浦市学校教育ビジョンに基づき、小学校の適正規模及び適正配置に関して、学校、地域の有識者の意見を参考に取組を進めます。具体的には、三崎・南下浦地区においては地域協議会準備会で協議、提出される意見を基に、新たに立ち上げる地域協議会で検討を進めます。また初声地区においては小中一貫教育を推進するため、教員による初声地区小中一貫教育推進委員会を立ち上げ検討を進めます。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	三崎地区地域協議会の開催：10回 南下浦地区地域協議会の開催：10回 初声地区小中一貫教育推進委員会の開催：4回		三崎地区地域協議会の開催：5回 南下浦地区地域協議会の開催：5回 初声地区小中一貫教育推進委員会の開催：2回			50%以上～75%未満 達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言等が発出されたため地域協議会等の開催を見合わせたため。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】説明会及び地域協議会を開催することにより、直接市民の声を聞くことができた。 【課題】説明会等での意見として、学校教育ビジョンを推進していくためには諸課題に対して具体的な方策を示す必要性を求められたこと。			関係職員で構成する庁内検討班において具体的な方策の検討を行う。			
有識者見	この事業は、児童・保護者だけでなく地域住民にとっても生活に直結し地元愛に根付く大きな問題を解決しなければならず丁寧に進めていかなければならない。 今の子ども達の現状、将来の子ども達、より良い三浦の教育環境についての話し合いがなされる事を望む。 三浦らしさを出していけるような環境づくりがなされると良いと思う。 大人の感情論にらずに、子どもの現状にあった子ども達の為の環境づくり、会議や議論の始めには、必ず子ども達の為の事業であるとの共通認識をもって、進めて頂きたい。						
教員会 総評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
付帯意見	現在の学校教育ビジョンに示したスケジュールに捉われない進行の方向性が示された事により、いま考えられる事実を冷静に踏まえ今後も協議検討を進めていくことを望む。						

No.	事業名				部門	一体感	
12	奨学事業				部	教育部	
					課	教育総務課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり				目	02 事務局費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		10,211,000	0	0	0	10,211,000	0
決算(見込)		10,025,513	0	0	0	10,025,513	0
執行率		98.18%	-	-	-	98.18%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
大学等に進学を希望しながら経済的な理由により進学が困難な学生に対して、選考上位の学生4名に入学時の給付金支給と無利子貸付を、選考に漏れた学生の中から希望する方の上位4名に無利子貸付を行い修学を支援します。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	奨学給付金給付人数：4名 奨学貸付金貸付人数：24名 貸付終了者（4名）が上級学校進学若しくは就職		奨学給付金給付人数：4名 奨学貸付金貸付者：22名 貸付終了者4名（うち進学1名、就職3名）			75%以上～100%未満 達成状況100%未満の理由 令和元年度奨学生採用者1名から貸付辞退の申出、及び令和2年度奨学貸付金該当者のうち1名から貸付辞退の申出あり。	
事務局自己評価	成果及び課題				課題に対する対処方針		
	【成果】令和2年度に三浦市奨学金条例を改正したことにより、国の高等教育の修学支援新制度（大学等無償化）と整合性を取り、昨今の実情に合った制度へと見直しを行うことができた。						
有識者見	三浦市に居住する子ども達に諦めることなく将来の夢をかなえる手助けをする事業である。広く周知して、経済的負担を理由に学業の選択を狭める事の無いよう、三浦市としてサポートできると、市としての魅力もアップして、そこで育った子ども達も郷土愛に満ち、相互に良い事業と思う。 一方で制度を利用した悪質な申請への対応が心配される面もあるので、審査は慎重に対応すべきである。権利を得た方には義務を果たしてもらおう事も教育上はとても大事なことを考える。						
教員会 総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。				
	目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。				
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。				
付帯意見	学ぶ意欲のある学生に三浦市として大学等への進学援助が出来る良い事業である。今後も国の制度などの動向を注視しながら、更に事業を充実させることを望む。						

2 学校教育課所管事業

No.	事業名					部門	一体感	
17	グローバル教育推進事業					部	教育部	
						課	学校教育課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09	教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					01	教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上					03	教育指導費
事業費(円)	事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他		一般財源	
当初予算	9,930,000	0	0	0	0		9,930,000	
決算(見込)	6,404,500	0	0	0	0		6,404,500	
執行率	64.50%	-	-	-	-		64.50%	
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由								
令和 2 年度 事業内容								
児童生徒の英語学習の充実を図るとともに、国際交流への関心度を深めるため、姉妹都市ウォーナンブル市より招聘した国際交流推進非常勤講師や市民有志による外国語支援員を小中学校に派遣し、わかりやすい外国語授業づくりを支援します。また、「三浦市学校教育全体構想」の中にSDGsの理念を取り入れ、各教職員への周知により授業づくりに対しての意識づけを行うことで、持続可能な社会の担い手としての資質を育成するための授業づくりを支援します。								
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況		
	SDGsの視点を持った授業実践：全小中学校 小学校での英語授業の充実 国際交流推進非常勤講師：5日/週 外国語支援員：200日/年 中学校での英語授業の充実 国際交流推進非常勤講師：5日/週		SDGsの視点を持った授業実践：全小中学校 小学校での英語授業の充実 国際交流推進非常勤講師：0日/週 外国語支援員：159日/年 中学校での英語授業の充実 国際交流推進非常勤講師：5日/週			75%以上～100%未満 達成状況100%未満の理由 2か月の臨時休校により、小学校外国語の授業時数が減少したことに伴い、外国語支援員について予定日数雇用することができなかった。 小学校担当の国際交流推進非常勤講師が、新型コロナウイルス感染症への不安から本人申し出により退職したため、小学校への派遣ができなかった。		
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針				
	【成果】臨時休校により外国語支援員の雇用期間が短縮されたが、全小学校に配置したことで、前年度に比べ月当たりの稼働日数は増加し、授業に多く関わることができた。 【課題】国際交流推進非常勤講師の安定的な確保。			市長部局と連携し、今後も国際交流推進非常勤講師2名体制を継続するとともに、近隣市町とも情報を共有しながら外国語活動支援員の人材確保に向け、取組を進めていきたい。				
有識者意見	5、6年生の外国語活動の教科化が始まったが「教科」の中の外国語の授業だけに終わることなく、他国の人とコミュニケーションを取る楽しさも感じてもらいたい。 また、3、4年生の授業のための教員の研修や中学校との連携も更に進めてもらいたい。 グローバル教育をする際に大切にすべき点は、自分を表現できる教育であると考えている。 自分らしさ、日本人らしさ、三浦の良さを感じる精神が根底にあってこそ、SDGsへの理解が深まり、グローバルに成長できる力となるのではないかと思う。							
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価					
	事業手法	4	事業手法は適切であった。					
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。					
	事業効果	4	具体的効果が得られている。					
付帯意見	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で小学校への国際交流推進非常勤講師の派遣が出来なかったことは残念であった。 外国語授業を通じてSDGsの考えに触れ、国際的な視点を養う良い機会であるので安定した講師の確保に努めていただきたい。							

No.	事業名				部門	一体感	
24	教育研究所事業				部	教育部	
					課	学校教育課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上				目	03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		1,257,000	0	0	0	0	1,257,000
決算(見込)		1,503,779	0	345,982	0	0	1,157,797
執行率		119.63%	-	-	-	-	92.11%
予算執行率100%超又は執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
<p>児童生徒の学習や学校生活に起因する諸問題に対応するため、教育相談員を設置し、保護者や児童生徒の相談に応じます。</p> <p>また、県の研究組織や各種研究会に参画し、各団体の研究成果を各学年に還元します。わかりやすい授業を目指し、各小中学校における校内研究を推進し、教職員の資質の向上を図ります。</p>							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	教育相談員の配置：40日／年 市内小中学校での校内研究の実施：11校 学びづくり研修会の実施：1回／年 人権教育研修会の実施：1回／年		教育相談員の配置：40日／年 市内小中学校での校内研究の実施：11校 学びづくり研修会の実施：17回／年 人権教育研修会の実施：1回（机上研修）／年			100%以上～125%未満 達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	<p>【成果】神奈川県から、かながわ学びづくり推進地域研究事業を受託することで、授業づくりや校内研究に係る研修会を実施し、研修内容を活かした授業を各校において実践した。</p> <p>【課題】各教員の更なる授業力の向上。</p>			市教育委員会が発行する「学びづくり通信」において、各学校の研修日程や研究授業の日程を周知し、参加を促していく。			
有識者見	<p>各教員の授業力の向上のため、引き続き積極的に研修や校内研修会を実践して欲しい。取り組みはとても良いと思うが、成果が見えにくいので個別に目標が達成されたかの自己評価、客観的評価があると、なお自己の目標に近づく事が出来、事業がより有意義なものになるのではないか。</p>						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
付帯意見	<p>教職員の更なる資質向上に繋がる研修、研究をこれからも継続して続けていただきたい。</p> <p>また、保護者などからの相談も増加していることから人員配置や日数見直しの検討も必要であると感ずる。</p>						

No.	事業名				部門	一体感	
29	海洋教育推進等地域連携事業				部	教育部	
					課	学校教育課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	09	教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				01	教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上				03	教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		2,661,000	0	0	0	500,000	2,161,000
決算(見込)		2,448,567	0	0	0	0	2,448,567
執行率		92.02%	-	-	-	0.00%	113.31%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
三浦らしい海洋教育の推進及び地域と連携した教育に取り組むことで、郷土三浦への愛着を深め、地域社会への関心度の向上につなげます。 教育委員会が実施主体となり、東大三崎臨海実験所等の関係機関と連携し、市内の全小中学校で海洋教育授業を実施するほか、子どもたち自身が各校の取組を発表し合う「海洋教育の集い」を開催します。また、寄付を募り、子供たちにとってより良い海洋教育の実践を目指します。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	海洋教育教材を活用した授業実施：11校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋写真コンテストの開催：1回 海洋写真コンテスト優秀作品のみうら市民まつり等での展示：3回 海洋教育の集いの開催：1回		海洋教育教材を活用した授業実施：11校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋写真コンテストの開催：1回 海洋写真コンテスト優秀作品のみうら市民まつり等での展示：1回 海洋教育の集いの開催：1回（書面開催）			75%以上～100%未満 達成状況100%未満の理由 海洋写真コンテスト優秀作品の展示を予定していたみうら市民まつりと三浦市創造展がコロナ禍の影響で開催中止となり、結果として三浦市立病院院内展示のみ行った。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】「海洋教育のつどい」は書面開催となったが、各学校が開発した海洋教育カリキュラムをまとめたパンフレットと冊子を作成し、全児童生徒及び教員に配布したことで、実践の共有を図ることができた。 各学校の実践記録をホームページ上で公開し、全国だれでも閲覧できるように改良した。 【課題】永続的な海洋教育の推進			三浦市教育研究所が主となり、みうら学・海洋教育研究所と連携し、地元関係者との連携を図り体験的活動を行うことで、引き続き郷土三浦に誇りを持つ人材育成を目指す。			
有識者見	三浦市ならではの事業であるのでコロナ禍で大変な状況の中で工夫しながら行えたことは評価できる。 予算や東大三崎臨海実験所との連携を増やし、地域の特性が出せるのではないかと思います。 また、東京大学の先生や研究員の話聞ける機会が増えると良いのではないかと。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	コロナ禍にもかかわらず海洋写真コンテスト優秀作品の展示、海洋教育の集い（書面開催）が開催出来たことは評価に値する。 海洋教育を通じて海の素晴らしさと怖さの現実を教える中で、郷土愛を育む事業であることに期待する。					

No.	事業名				部門	一体感	
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業				部	教育部	
					課	学校教育課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり				目	03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		0	0	0	0	0	0
決算(見込)		0	0	0	0	0	0
執行率		-	-	-	-	-	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
学校と家庭・地域の関係機関・団体が連携し、児童・生徒及び学校が被害を受ける事件を防止し、子どもが安心して教育を受けることができるよう、登下校時等における児童・生徒のスクールガード活動（見守り活動）に対する支援を行います。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績		達成状況		
	各小中学校でのスクールガード活動の実施：学校課業日全日		各小中学校でのスクールガード活動の実施：学校課業日全日		100%以上～125%未満		
					達成状況100%未満の理由		
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	<p>【成果】地域の積極的な協力により、登下校時の子どもたちの安全が図られている。</p> <p>【課題】高齢化等の理由によりスクールガード登録者数が減少していることを受け効果的な配置等について検討していく必要がある。また、必要物品等に係る予算を計上できていない。</p>			<p>各学校のスクールガード連絡会等の場に参加し、他市町の活動状況について情報提供するとともに効果的な配置等についてアドバイスしていく。</p> <p>また、必要物品を令和3年度に配布できるよう調整する。</p>			
有識者見	<p>登下校中の痛ましい事故のニュース等を見るとスクールガードの方の協力は大きいものと思われる。協力者を増やし、子どもの安全確保に尽力いただきたい。</p> <p>また、地域企業との協力体制を整えられると良い。企業にとってもイメージアップになり、協力頂けるのではないかと考える。</p> <p>初声地区では子ども達の帰宅時間に、初声の駐在所の警察官がよくパトロールをしてくれているので、更に警察との連携も進められると心強い。</p>						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	<p>スクールガード活動に貢献していただいている方々には感謝をしたい。</p> <p>一方、登録者数減少や高齢化などの問題にしっかりと取り組む時期に来ていると思うので何か良い方法を探る事が必要である。</p>					

No.	事業名				部門	一体感	
34	小学校就学援助事業				部	教育部	
					課	学校教育課	
総合 計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			款 項 目	09 教育費	
	目標	子どもを産み育てたくなる環境づくり				02 小学校費	
	施策	子育て支援の充実				02 教育振興費	
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		14,851,000	10,000	0	0	97,000	14,744,000
決算(見込)		11,974,511	7,000	0	0	102,580	11,864,931
執行率		80.63%	70.00%	-	-	105.75%	80.47%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 令和2年度は、これまで上限金額を設けていた修学旅行費について実費支給を行います。							
目標 と 実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行う。		経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行うことができた。			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局 自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】概ね学期内に支給することができた。 なお、支給項目である修学旅行費については上限金額をなくし、実費支給とした。 【課題】認定基準や支給単価等について、検討を深める必要があると考える。			認定基準所得額を生活保護法に定める最低生活費の1.4倍の金額とすることで近隣他市町の水準に近づける。			
有識者 意見	子どもの貧困が社会問題になっているがコロナ禍において更に格差は大きくなっていると思われる。子どもの学校生活が平等に充実して送ることができるよう引き続ききめ細やかに対応していくことを希望する。						
教育 委員会 総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	認定基準や支給単価において近隣市町の水準に近づける努力は評価に値する。 令和2年度はコロナ禍による経済打撃でこの事業に支えられた方も多いためと思いません。 今後も事業の充実に期待したい。					

No.	事業名				部門	一体感	
35	中学校就学援助事業				部	教育部	
					課	学校教育課	
総合 計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			款 項 目	09	教育費
	目標	子どもを産み育てたくなる環境づくり				03	中学校費
	施策	子育て支援の充実				02	教育振興費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		12,292,000	57,000	0	0	65,000	12,170,000
決算(見込)		7,602,938	0	0	0	70,840	7,532,098
執行率		61.85%	0.00%	-	-	108.98%	61.89%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 令和2年度は、これまで上限金額を設けていた修学旅行費について実費支給を行います。							
目標 と 実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績		達成状況		
	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行う。		経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行うことができた。		100%以上～125%未満		
					達成状況100%未満の理由		
事務局 自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】概ね学期内に支給することができた。 なお、支給項目である修学旅行費については上限金額をなくし、実費支給とした。 【課題】認定基準や支給単価等について、検討を深める必要があると考える。			認定基準所得額を生活保護法に定める最低生活費の1.4倍の金額とすることで近隣他市町の水準に近づける。			
有識者 意見	子どもの貧困が社会問題になっているがコロナ禍において更に格差は大きくなっていると思われる。子どもの学校生活が平等に充実して送ることができるよう引き続ききめ細やかに対応していくことを希望する。						
教育 委員会 総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	認定基準や支給単価において近隣市町の水準に近づける努力は評価に値する。 令和2年度はコロナ禍による経済打撃でこの事業に支えられた方も多いためと思いません。 今後も事業の充実に期待したい。					

3 学校給食課所管事業

No.	事業名				部門	一体感	
36	学校給食事業				部	教育部	
					課	学校給食課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	04 学校給食費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上				目	01 給食管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		162,150,000	0	0	0	0	162,150,000
決算(見込)		160,443,679	1,779,000	0	0	0	158,664,679
執行率		98.95%	-	-	-	-	97.85%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
郷土を愛する食育を推進するため、特産品であるまぐろや新鮮な野菜を活用したメニューづくりに取り組み、「三浦ならではの地産地消の学校給食」を実施します。 また、安全、安心な学校給食の提供に努め、市内小中学生の心身ともに健全な発達に寄与していきます。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	学校給食の円滑な運営 国の支援事業を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費が落ち込んでいる国産農畜水産物を使用した給食の提供。		三崎、南下浦両調理場の施設及び機器等の保守点検、保全補修を行うとともに、衛生管理に留意し、適正な管理運営を行い、安心安全な学校給食を提供することが出来た。 国産農畜水産物を使用したメニューの提供：7回			100%以上～125%未満 達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内小中学校の授業日程が変更となり、通常とは異なる日程での給食の提供となったが、県栄養士及び調理、搬送の業者とも連携をとり、円滑な学校給食の運営が図れた。 衛生管理については、両調理場で学校給食事業に関わる者に対し、新たな衛生基準と併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止にも配慮した指導を行った。 地産地消の献立については、国産農畜水産物を使用した献立を7回提供した。 アレルギー対応は、教職員と連携し、該当する児童生徒の対応食のメニューを増やしつつ、安全に配慮して給食を提供することができた。			今後も、県栄養士、調理、搬送の委託業者と連携を図り、安全安心な学校給食を実施する。 地産地消の献立についても、地元野菜の廃棄ロスの減少に貢献できるメニューの開発に取り組み、児童生徒が喜ぶ給食を提供していく。			
有識者見	近隣の自治体から、うらやましがれる程の良い事業である。 また、三浦特有の食材とその季節感を学ぶ機会が増え、三浦ならではの郷土愛も育まれるのではないかと考える。 アレルギー対応については、命に関わることであるが、きめ細かく対応しており評価できる。						
	評価項目	ランク	評価				
教育委員会総合評価	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。				
	目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。				
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。				
	付帯意見		地産地消の献立提供や地元野菜の消費に貢献できるメニューの開発は高く評価したい。 廃棄野菜の利用を子どもたちにアピールする事はSDGsの理念にもつながる。 これからも安心安全な給食の提供に期待したい。				

4 文化スポーツ課所管事業

No.	事業名				部門	一体感	
43	地域スポーツ振興事業				部	教育部	
					課	文化スポーツ課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	三浦が一体となる文化づくり				項	06 保健体育費
	施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進				目	01 保健体育総務費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		1,620,000	0	0	0	0	1,620,000
決算(見込)		1,620,000	0	0	0	0	1,620,000
執行率		100.00%	-	-	-	-	100.00%
予算執行率100%超又は執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
スポーツ振興のため三浦市総合体育大会事業、競技力向上選手育成強化事業等を行う、三浦市体育協会の育成を図るため活動補助金を交付し運営をサポートします。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	三浦市体育協会への補助金交付:1件 三浦市総合体育大会の開催		三浦市体育協会への補助金交付:1件 (1,620,000円) 三浦市総合体育大会中止			50%以上～75%未満 達成状況100%未満の理由 補助金の交付は、目標どおり達成したが、共催する予定だった三浦市総合体育大会が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	<p>【成果】達成目標に掲げたとおり補助金の交付を行ったことで、三浦市体育協会の運営をサポートすることができた。 三浦市総合体育大会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったが、加盟団体宛てに、各種目の中央競技団体が定めたガイドライン等の送付を行い、コロナ禍における活動のサポートを行った。</p> <p>【課題】新型コロナウイルスが終息するまでの間、スポーツをする機会の減少が見込まれるため、人々のスポーツ離れが進行しないよう対策が必要である。</p>			令和3年7月1日から「三浦市スポーツ協会」に名称変更した同協会と教育委員会とが連携し、引き続き安全・安心にスポーツに触れ合うことが出来る機会の創出及び検討を行う。			
有識者見	三浦出身や近隣で活躍のスポーツ選手との交流はとても良いことである。コロナの影響もあるが、機会を増やせると良いと思う。ポッチャなどの生涯スポーツへの取り組みなども評価できる。三浦の特性をいかした、海洋スポーツにも力を入れて欲しい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	3	一定の効果は得られている。				
付帯意見	新型コロナウイルス感染症拡大により数々のスポーツ大会や教室等中止を余儀なくされたのは残念であった。 今後はコロナ禍においても市民の健康維持に貢献出来るやり方の検討が必要であると考えます。						

No.	事業名				部門	一体感	
57	社会教育講座事業				部	教育部	
					課	文化スポーツ課	
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			予算	09	教育費
	目標	生きがいをもって生涯を過ごせる環境づくり				05	社会教育費
	施策	生涯学習の推進				01	社会教育総務費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		125,000	0	0	0	0	125,000
決算(見込)		69,000	0	0	0	0	69,000
執行率		55.20%	-	-	-	-	55.20%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
<p>子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが、様々な形で学習活動に取り組むことでお互いの個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた毎日を送るとともに、豊かな地域づくりという共通の目標に向けて共に学びあいお互いの知恵や経験を活かし合っていくことをめざして、社会教育講座実行委員会により各種社会教育講座の企画運営を行います。</p> <p>南下浦市民センターでは、小学生と保護者が対象の「したうら塾」、シニア世代が対象の「趣味の農業」のほか、「絵画講座」等を行います。</p> <p>初声市民センターでは、小学生と保護者が対象の「みちしお学級」のほか、「工芸講座」「料理講座」「歴史講座」「親子やきもの教室」等を行います。</p>							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	社会教育講座実行委員会で決定された社会教育講座の実施。 実施講座数：39講座		社会教育講座実行委員会で決定された社会教育講座を実施した。 実施講座数：19講座			50%未満	
						達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(20回)	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	<p>【成果】講座の開催にあたっては、(人数制限を行うなど)感染対策を講じた上で、開催が可能な講座を選定し実施した。 アンケートによると、開催した講座の参加者の92.9%から、講座内容について「満足」と回答され高評価をいただいている。</p> <p>【課題】市民ニーズの講座への反映、参加者の増加策、対面式での講座が開催できない場合の対応を検討する必要がある。</p>			アンケート等によるニーズの把握、市内全域の方が参加しやすい会場設定、動画等による対応等について検討する。			
有識者見	<p>子どもから高齢者まで参加できる講座を設定し満足度の高いのは素晴らしいことである。コロナ禍ではあるが、オンライン等で出来ることを考え、講座が増えるとより良いのではないか。</p> <p>また、歴史や地理、地域性を研究し、三浦特有の観天望気、地域の歴史教育などに力を入れるのも良いのではないか。</p>						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出る中、感染対策に配慮し複数の講座が実施出来たことは評価したい。 コロナ禍でも安心して参加出来るリモート座学など事業の手法などの検討を期待する。</p>					

5 青少年教育課所管事業

No.	事業名				部門	一体感	
60	青少年姉妹都市国際交流事業				部	教育部	
					課	青少年教育課	
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	三浦が一体となる文化づくり				項	05 社会教育費
	施策	市民文化の活動の基盤づくり				目	06 青少年教育費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		0	0	0	0	0	0
決算(見込)		0	0	0	0	0	0
執行率		-	-	-	-	-	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
国際姉妹都市オーストラリア・ウォーナンブル市との青少年の受入・派遣による交流を行い、異なる文化や生活習慣の理解の向上、国際的視野を持つ青少年の育成を図ります。 また、学校体験・ホームステイ体験を通じて市民同士・地域同士の交流を促進します。							
目標と実績	令和 2 年度 達成目標			令和 2 年度 実績		達成状況	
	事業休止					達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	<p>【成果】オリンピック開催年であったため事業の休止を予定していた。</p> <p>【課題】新型コロナウイルス感染拡大により、日本・オーストラリア両国において出入国が困難となっている。コロナ禍の中で、参加者の安全・安心を確保しつつ、事業を実施できる形を模索する必要がある。</p>			再開の時期についてウォーナンブル市及び関係者等と調整を図るとともに、国内外の流行の状況やワクチン接種の普及状況等を注視し、交流事業実施の可能性を探る。			
有識者見	令和2年度、そして令和3年度もコロナ禍とオリンピック開催のため事業ができなかったが、この事業は姉妹都市との交流ができる大切な事業である。 旅行代理店では、オンラインツアーやオンライン修学旅行なども行っているようである。互いのオンラインツアーの提供を通して、相互の交流も出来るのではと考える。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法						
	目標と実績						
	事業効果						
	付帯意見	新型コロナウイルス感染症拡大により、国際交流が主な内容であるこの事業は、今後時代に合う人的交流をどのような形で実施出来るか世界の情勢などの様子を見ながら探る必要がある。 今後も事業の継続を願う。					

※青少年姉妹都市国際交流事業については、事業を休止したため教育委員会の評価はせず、付帯意見のみ付した。

No.	事業名				部門	一体感	
66	青少年指導員活動事業				部	教育部	
					課	青少年教育課	
総合 計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			款 項 目	09	教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				05	社会教育費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり				06	青少年教育費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		1,224,000	0	93,000	0	0	1,131,000
決算(見込)		1,060,807	0	63,000	0	0	997,807
執行率		86.67%	-	67.74%	-	-	88.22%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 2 年度 事業内容							
青少年を地域ぐるみで育成する活動の推進役として、関係団体と連携をとりながら、パトロール活動や青少年との交流活動を通して青少年の健全育成を支援します。							
目標 と 実績	令和 2 年度 達成目標		令和 2 年度 実績			達成状況	
	青少年指導員連絡協議会の開催：年4回 役員会開催：年3回 パトロール活動の実施 青少年の健全育成に係る啓発活動の実施		青少年指導員連絡協議会の開催：年3回 役員会開催：年2回			50%未満 達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議を除く全ての活動が中止となったため。	
事務局 自己評価	成果及び課題				課題に対する対処方針		
	【成果】新型コロナウイルス感染拡大のため、当初予定していた事業計画のほとんどの事業を中止した。 連絡協議会・役員会については、対面形式での開催に加え、書面形式による開催を行った。 【課題】新たな生活様式に応じた安全・安心な行事の再開に向け、課題や工夫の検討を図る。				いまだコロナ過であるため対面での会議が開催できない場合には、書面会議を積極的に活用し、意見を聴取する。 また、活動の活性化を図るため、実質的に各区から1名を推薦する形となっている現在の青少年指導員の総数を削減するための資料を作成し、役員と相談し見直しを図る。		
有識者 意見	コロナ禍で活動ができず、青少年指導員の方たちもモチベーションが下がっていると思われるが、青少年のために尽くしてくれるのは有難いことである。 指導員の確保に苦慮されているようだが、大切な事業であるので、より良い方向へ活性化できるよう望む。 市民全体のマナーの向上への啓発などが出来ると良いのではないかと。 地域が、より良い雰囲気を作る事で、青少年への良い影響となると思われるので、指導員だけでなく、市民全体でのマナー向上が青少年への前向きな指導になると考える。						
教 育 委 員 会 総 合 評 価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くの活動が中止になった事は残念であった。 この機会に近年課題となっている指導員の選出方法を見直し、みうらっ子を地域で育み、守っていく為に活動がより活発になる事を望む。					

6 総括表

点検・評価のうち、事業手法、目標と実績及び事業考課の3つの評価項目別評価結果を課ごとにまとめると、次の表7のとおりとなります。

【表7：点検・評価総括表】

評価項目別ランク		所管課					計	
		教育総務課	学校教育課	学校給食課	文化スポーツ課	青少年教育課		
事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。	1	0	1	0	0	2
	4	事業手法は適切であった。	3	6	0	2	1	12
	3	事業手法はおおむね適切であった。	0	0	0	0	0	0
	2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。	0	0	0	0	0	0
	1	事業手法の見直しが必要である。	0	0	0	0	0	0
目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。	1	0	1	0	0	2
	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。	2	6	0	2	1	11
	3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。	1	0	0	0	0	1
	2	目標設定に課題があり、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
	1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。	1	0	1	0	0	2
	4	具体的効果が得られている。	3	6	0	1	1	11
	3	一定の効果は得られている。	0	0	0	1	0	1
	2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。	0	0	0	0	0	0
	1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。	0	0	0	0	0	0
点検・評価対象事業数			4	6	1	2	1	14

※No.60 青少年姉妹都市国際交流事業については、事業を休止したため教育委員会の評価はせず、付帯意見のみ付した。

Ⅲ 教育委員会活動状況報告

1 教育委員会教育長・委員名簿

点検・評価の実施主体である地教行法第3条に基づく三浦市教育委員会の教育長及び委員は、下記の表8のとおりです。

【表8：三浦市教育委員会教育長・委員名簿】

令和2年10月1日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	おい かわ けい すけ 及 川 圭 介	平成30年10月1日	平成30年10月1日 ～令和3年9月30日
教 育 長 職務代理者	ひろ せ まき み 廣 瀬 牧 実	平成29年10月1日	平成29年10月1日 ～令和3年9月30日
委 員	お ち こう いち 越 智 康 一	平成30年10月3日	平成30年10月3日 ～令和4年10月2日
委 員	いし げ ひろ お 石 毛 浩 雄	令和元年10月1日	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日
委 員	いし ざき ゆめ ご 石 崎 勇 吾	令和2年10月1日	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日

2 教育委員会会議

(1) 開催状況

三浦市教育委員会は、原則として、毎月1回の三浦市教育委員会定例会を開催しています。令和2年度においては、次の表9のとおり定例会12回、臨時会1回を開催し、議案29件を審議しました。

【表9：令和2年度教育委員会会議の開催状況】

開催日	会議	付議事件数
令和2年 4月28日(火)	4月定例会書面開催	○教育長報告 0件 ○報告事項 5件 ○審議事項 0件 ○その他事業報告 0件
令和2年 5月26日(火)	5月定例会 欠席委員 1名 傍聴者 なし	○教育長報告 1件 ○報告事項 2件 ○審議事項 2件 ○その他事業報告 0件

開催日	会議	付議事件数
6月26日(金)	6月定例会 欠席委員 1名 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 2件 ○審議事項 2件 ○その他事業報告 1件
7月29日(水)	7月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 2件 ○審議事項 4件 ○その他事業報告 2件
8月6日(木)	第1回臨時会 欠席委員 なし 傍聴者 15名	○審議事項 1件
8月28日(金)	8月定例会 欠席委員 1名 傍聴者 なし	○教育長報告 5件 ○報告事項 2件 ○審議事項 2件 ○その他事業報告 3件
9月30日(水)	9月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 3件 ○審議事項 1件 ○その他事業報告 1件
10月30日(金)	10月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 6件 ○報告事項 3件 ○審議事項 0件 ○その他事業報告 2件
11月19日(木)	11月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 4件 ○報告事項 3件 ○審議事項 3件 ○その他事業報告 2件
12月22日(火)	第12回定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 4件 ○報告事項 3件 ○審議事項 2件 ○その他事業報告 4件
令和3年 1月28日(木)	1月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 3件 ○審議事項 1件 ○その他事業報告 4件
2月22日(月)	2月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 4件 ○報告事項 4件 ○審議事項 4件 ○その他事業報告 5件
3月30日(火)	3月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 5件 ○審議事項 7件 ○その他事業報告 0件
	定例教育委員会 12回 臨時教育委員会 1回	○教育長報告 39件 ○報告事項 37件 ○審議事項 29件 ○その他事業報告 24件

(2) 審議等の状況

前述のとおり、三浦市教育委員会の会議では、定例会12回、臨時会1回を開催し、審議事項(議案)29件の審議・採決を行ったほか、教育長報告

39 件、報告事項 37 件、その他事業報告 24 件について報告がされています。
その案件は、次の表 10～表 13 のとおりです。

【表 10：教育長報告案件一覧】

番号	案 件 名	報 告 日
1	新型コロナウイルス感染症の学校等での対応について	令和2年 5月26日
2	小中学校の再開について	6月26日
3	教育委員会所管施設の利用再開について	
4	令和2年第2回三浦市議会定例会について	
5	小中学校の夏休みについて	7月29日
6	中学校の部活動について	
7	令和2年第2回三浦市議会臨時会について	
8	令和3年度使用中学校教科用図書の採択について	8月28日
9	2学期の開始について	
10	初声小学校で発生した新型コロナウイルス感染症への対応について	
11	教育委員会所管施設の利用再開等について	
12	令和2年第3回三浦市議会定例会について	9月30日
13	令和2年第3回三浦市議会定例会について	
14	小中学校の2学期の状況について	
15	今後の行事等について	
16	台風14号の対応について	10月30日
17	中学校駅伝競走大会について	
18	小学校の修学旅行について	
19	学校訪問について	
20	今後の行事等について	
21	来年度予算編成について	
22	小学校の運動会について	11月19日
23	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
24	令和2年第4回三浦市議会定例会について	
25	令和3年度予算編成について	
26	小学校の修学旅行について	12月22日
27	新型コロナウイルス感染症等の状況について	
28	令和2年第4回三浦市議会定例会について	
29	今後の予定について	

番号	案 件 名	報 告 日
30	新型コロナウイルス感染症等の状況について	令和3年 1月28日
31	令和3年三浦市成人の日のつどいについて	
32	1月の行事について	
33	新型コロナウイルス等に係る状況について	2月22日
34	海洋教育のつどいについて	
35	県立高校の入試について	
36	令和3年度予算について	
37	卒業式・入学式について	3月30日
38	中学校3年生への贈り物について	
39	令和3年第1回三浦市議会定例会について	

【表 11：審議事項案件一覧】

番号	案 件 名	審 議 日
R2-15	令和2年度三浦市一般会計補正予算（第2号）に関する申出について	令和2年 5月26日
16	一般社団法人みうら学・海洋教育研究所の事業実績等報告書類の送付について	
17	令和2年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価基本方針について	6月26日
18	要望書の取扱いについて	
19	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	7月29日
20	要望書の取扱いについて	
21	令和3年度使用小学校教科用図書の継続採択について	
22	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	
23	令和3年度使用中学校教科用図書の採択について	8月6日
23	令和2年度三浦市一般会計補正予算（第4号）に関する申出について	8月28日
24	令和2年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について	
25	三浦市教育委員会教育長職務代理者の指名について	9月30日
26	三浦市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	11月19日
27	三浦市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について	
28	令和2年度三浦市一般会計補正予算（第6号）に関する申出について	
29	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	12月22日
30	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	

番号	案 件 名	審 議 日
R3-1	三浦市奨学金制度改正の基本方針について	令和3年 1月28日
2	三浦市奨学金条例の一部を改正する条例の申出について	2月22日
3	令和2年度三浦市一般会計補正予算（第9号）に関する申出について	
4	令和3年度三浦市一般会計予算に関する申出について	
5	県費負担教職員の人事異動について	3月30日
6	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	
7	三浦市立学校の教育職員の業務を行う時間に関する規則の制定について	
8	三浦市立学校における働き方改革推進指針の策定について	
9	三浦市学校教育ビジョン地域協議会に関する要綱の改正について	
10	三浦市文化財保護委員の委嘱について	
11	三浦市スポーツ推進委員の委嘱について	
12	教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動について	

【表 12：報告事項案件一覧】

番号	案 件 名	報 告 日
1	令和2年3月の後援名義等使用について	令和2年 4月28日
2	令和2年度奨学事業について	
3	新型コロナウイルス感染症の対策に係る教育委員会が所管している施設の臨時休館等について	
4	三浦市社会教育委員充て職委員の決定について	
5	三浦市スポーツ推進審議会委員充て職委員の決定について	
6	令和2年4月の後援名義等使用について	5月26日
7	新型コロナウイルス感染症の対策に関わる教育委員会が所管している施設などの臨時休館等について	
8	令和2年第2回三浦市議会定例会の状況について	6月26日
9	教育委員会が所管している施設の利用再開について	
10	令和2年6月の後援名義等使用について	7月29日
11	三浦市学校教育ビジョン地区説明会開催状況について	
12	令和2年7月の後援名義等使用について	8月28日
13	令和元年度学校給食事業（令和元年度決算）について	
14	令和2年8月の後援名義等使用について	9月30日
15	令和2年第3回三浦市議会定例会の状況について	
16	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	

番号	案 件 名	報 告 日
17	令和2年9月の後援名義等使用について	10月30日
18	令和3年度予算編成方針について	
19	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
20	令和2年10月の後援名義等使用について	11月19日
21	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
22	令和2年度三浦市図書館利用者満足度調査集計結果について	
23	令和2年11月の後援名義等使用について	12月22日
24	令和2年第4回三浦市議会定例会の状況について	
25	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
26	令和2年12月の後援名義等使用について	令和3年 1月28日
27	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
28	令和3年三浦市成人の日のつどいの開催結果について	
29	令和3年1月の後援名義等使用について	2月22日
30	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
31	令和2年度三浦市立小学校及び中学校の卒業式について	
32	子育て賃貸住宅等整備事業について（三浦市図書館設置条例等の一部を改正する条例の基本方針）	3月30日
33	令和3年2月の後援名義等使用について	
34	令和3年第1回三浦市議会定例会の状況について	
35	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
36	教育委員会所管の個別施設計画（長寿命化計画等）について	
37	三浦市教育情報セキュリティポリシー等について	

【表13：その他事業報告案件一覧】

番号	案 件 名	報 告 日
1	三浦市社会教育講座 子ども絵画教室の開催について	令和2年 6月26日
2	三浦市社会教育講座「工芸講座」便利グッズねこピンチの開催について	7月29日
3	三浦市社会教育講座「工芸講座」ブッダナッツの開催について	
4	三浦市社会教育講座「秋の体操講座」～肩こり・腰痛すっきり体操～の開催について	8月28日
5	三浦市社会教育講座「歴史講座」～三浦古尋録に見る江戸時代の村々～の開催について	
6	三浦市社会教育講座 健康体操の開催について	
7	三浦市社会教育講座「工芸講座」収納ケース付きエコバッグ作りの開催について	9月30日

番号	案 件 名	報 告 日
8	三浦市社会教育講座「工芸講座」ミニ門松作りについて	10月30日
9	三浦市社会教育講座「工芸講座」鎌倉彫について	
10	三浦市社会教育講座 三浦の野菜をおいしく食べる料理講座の開催について	11月19日
11	三浦市社会教育講座「工芸講座」鎌倉彫の開催について	
12	三浦市社会教育講座 やさしく学ぶ仏像講座「古寺・名刹と仏像」の開催について	12月22日
13	三浦市社会教育講座 季節の料理講座「ひな祭りランチ」の開催について	
14	三浦市社会教育講座 「趣味の農業」23期生募集について	
15	三浦市社会教育講座 料理講座「大寒の薬膳」の開催について	令和3年 1月28日
16	三浦市社会教育講座 やさしい俳句入門の開催について	
17	三浦市社会教育講座 工芸講座 プリザーブドフラワーとアートフラワーで作る仏花（お供え花）アレンジの開催について	
18	三浦市社会教育講座 料理講座 キャベツを使った料理の開催について	
19	緊急事態宣言発出による教育委員会関係の行事・イベントの中止及び延期について	2月22日
20	三浦市社会教育講座 親子農業体験教室の開催について	
21	三浦市社会教育講座 サタデーボックス 子ども将棋教室の開催について	
22	三浦市社会教育講座 サタデーボックス したうら子ども囲碁教室の開催について	
23	三浦市社会教育講座 工芸講座 プリザーブドフラワーとアートフラワーで作る仏花（お供え花）アレンジの開催について	
24	三浦市社会教育講座 子ども料理教室～さくさくスイーツポテトパイを作ろう～の開催について	

3 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議以外にも、教育委員会委員は、教育関係行事への参加、会議へ出席しています。

その主なものは次の表 14 のとおりです。

【表 14：教育委員会会議以外の活動状況】

番号	月日	活動等の名称	活動内容	区分	所管課
1	8月3日(月)	三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価事業別ヒアリング	三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価に関する有識者との合同の事業別ヒアリングに出席	会 議	教 育 総 務 課
2	11月19日(木)	第1回三浦市総合教育会議	委員として出席	会 議	教 育 総 務 課
3	令和3年 1月11日(祝・月)	成人の日のつどい	主催者として列席	式 典	青 少 年 教 育 課
4	3月 30日(火)	第2回三浦市総合教育会議	委員として出席	会 議	教 育 総 務 課

IV 教育委員会総合所見

○義務教育に関すること

今年度はeラーニングやICT教育など、コロナ禍においても充実した教育環境が受けられる環境を導入できました。

同年代とコミュニケーションを取りながら過ごす義務教育9年間はとても大事な時間であると思います。

学校教育ビジョンについては、三浦市の子どもにとって更に良いものになるよう十分な協議を行うことが必要であると感じています。

○生涯学習に関すること

学びの機会の提供によって、知識の蓄積や生涯学習を通して人と人との繋がりができることは、豊かな生活を過ごすという人生にとって大きな機会です。

受講者アンケートでも満足度の高いものであるという結果が出ていますのでコロナ禍でも安心して受講出来る取り組みの工夫をお願いしたい。

○青少年に関すること

健全な青少年を育むことは地域の大きな役割であると思います。

乳幼児期からの育ちの積み重ねを視野に入れ、一人ひとりが安心して生活できているのかなど、社会で生きていく為に切れ目のない支援が必要だと感じています。

その為には地域での様々なイベント、コミュニケーションを通しての支援が必要であると思います。

○社会体育に関すること

スポーツは自主的、自立的活動であり、健康増進、他者との連携、喜び、楽しさ、達成感等々、心身に与える影響は大きいです。

多くの高齢者を抱える三浦市として、市民の健康維持を図ることは大事な役目であると思います。

まだ収束の見込みの立たないコロナ禍でも安心して参加ができる事業の対応を願います。

○給食に関すること

食育基本法では、子どもたちに対する食育は、「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである。」と記されています。

三浦市の給食事業は地元の食材を活用し、子どもたちにも好評であると聞いているので今後も安心安全な提供をお願いします。

また、今後とも地産地消の観点から地元食材を活用した給食作りに期待します。

○教育委員会全般に関すること

新型コロナウイルス感染症の影響で授業時間の短縮や教育委員会の各事業の中止など多くの制限がかかってしまいました。

小学校教育環境適正化事業では市民の理解と信頼を得ながら丁寧に進めていく必要があります。

子どもたちの教育環境においては、GIGA スクール構想をはじめとして、子どもたちを取り巻く教育環境は大きく変化しています。タブレットが整備されたことにより時代に沿った新たな手段を使った教育へのアプローチを有効利用し、実りある教育の成果が表れるよう期待します。

令和3年度（令和2年度実施事務事業）
三浦市教育委員会所管事務事業
点検・評価報告書

発行日：令和3年8月26日

編集：三浦市教育委員会 教育部 教育総務課

発行：三浦市教育委員会

〒238-0298 三浦市城山町1番1号

TEL:046-882-1111(代)/FAX:046-882-1160

E-mail:kyoui0101@city.miura.kanagawa.jp